

3-18 保健・健康増進（圏域：全市域）

3-18-1 施設再編の方針

対象施設
別府市保健センター「湯のまち けんこうパーク」
施設再編の方針
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 市民の健康増進を図る重要な施設であり、現状では代替性がないため、適切な保全のもと維持・存続します。 ▶ 国の「少子化社会対策大綱」等に基づき、おおむね平成 32 年度を目途に、児童家庭課と連携した「子育て世代包括支援センター」の併設を検討します。 ▶ 会議室・調理室について、本来の施設目的を損なわない範囲で多様な利用を促進し、利用率の向上を図るとともに、施設全体の貸付け状況を見直し、収入の確保など、財務状況の改善を図ります。

3-18-2 現状分析

① 施設の概要

市民の健康の保持及び増進を図ることを目的に、平成 22 年 12 月に設置されたものです。平成 11 年に建設された防衛省共済組合の保養所を買い取り、大規模改修しました。

乳幼児から高齢者までの、健康相談、各種健（検）診、健康料理教室などの保健センター事業を行うとともに、診療所機能を備え、医師会及び歯科医師会、薬剤師会に委託し「夜間こども診療」や「休日歯科診療」等の事業を実施しています。

施設内の一部は、別府市医師会及び歯科医師会の事務所として貸付しています。

② ポートフォリオ分析結果

本用途は、市内に別府市保健センター「湯のまち けんこうパーク」のみであり、比較対象がないことからポートフォリオ分析は実施していません。

品質状況については、築年数が比較的浅く、新耐震基準の建物のため、偏差値は高く算出されています。

台帳番号	施設名称	占有面積 (㎡)	品質				平均偏差値 (ハード)	供給		財務		平均偏差値 (ソフト)
			築年数 (年)	偏差値	耐震対応率 (%)	偏差値		1日あたり利用者数 (人/日)	偏差値	利用者あたり市負担額 (千円・日/人)	偏差値	
448	別府市保健センター「湯のまち けんこうパーク」	2,112.1	11.5	61.2	100.0	55.3	58.3	0.0	—		—	—

図 53 各指標の基礎データ（保健・健康増進）

③ 老朽化の状況

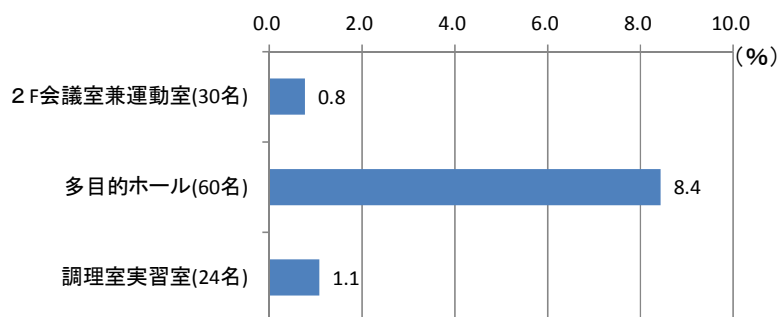
築年数は 11.5 年であるものの、既存施設を改修した部分もあり、外壁のひび割れや漏水が一部に発生しています

④ 利用状況・コスト状況

(i)年間利用者数・利用率

別府市保健センター「湯のまち けんこうパーク」の年間利用者数は3万人で、主に乳幼児健診や母子教育、健康診査などに利用されています。夜間こども診療は、年間6千人程度の利用があります。

会議室・調理室については、健診や栄養教室等保健医療関係の事業に利用目的を限定しているため、利用率は低い状況です。近年は、近接する本庁舎の会議室不足等から、行政関係の各種会議室として使用されることが増えています。



※平成26年度実績に基づいて作成。

※利用数は外部への貸出のみ集計。施設管理者が利用する場合を含んでいません。

図 54 別府市保健センター「湯のまち けんこうパーク」における部屋ごとの利用率

(ii)運営コスト

施設使用料収入がほとんどなく、税金負担割合は10割近くとなっています。